支部だより

東北支部

化学系学協会東北大会（米沢）のお知らせと米沢地区活動報告

はじめに

秋田大学で開催されました令和6年度東北大会を引き継ぎ，令和7年度東北大会は，米沢で開催します。東北大会は東北6県で持ち回り開催しており，前回の米沢開催から数えて11年ぶりの開催となります。

日程：2025年9月6日(土)～7日(日)

会場：山形大学工学部(米沢キャンパス)

主催：日本化学会東北支部，共催（予定）：高分子学会東北支部，日本分析化学会東北支部，化学工学会東北支部，有機合成化学協会東北支部，電気化学会東北支部，日本材料学会東北支部，繊維学会東北北海道支部，無機マテリアル学会北部支部，分子科学会東北地区，日本セラミックス協会東北北海道支部，日本接着学会東北・北海道支部，高等学校文化連盟自然科学専門部，山形大学

特別講演者のご紹介

特別講演者は，有機触媒研究分野の第一人者であり，日本化学会会長の丸岡啓二先生（京都大学特任教授），有機EL研究分野の第一人者である城戸淳二先生(山形大学フェロー)ならびに広く化学の啓発・普及に携ってこられた吉祥瑞枝博士（日本化学会フェロー，サイエンススタジオ・マリー主宰）を予定しております。また，各学協会によるセッションのほか，コロキウム，若手シンポジウム，ポスター発表など多数の企画を予定しております。詳細につきましては本号掲載の会告をご覧下さい。多数のご参加をお待ちしております。

米沢地区活動報告「第336回化学への招待（米沢）」

2024年7月26日(金)に行われました第336回化学への招待（米沢）の活動報告をさせていただきます。米沢地区では中学生に化学の面白さを体験してもらう活動として米沢市理科研修センターと共同で毎年開催しております。また開催場所を山形大学とすることで普段は立ち入ることのできない大学の実験室で，大学院生とともに参加した中学生に大学での実験活動に触れてもらえる機会にしています。

今年は，「光と電気」をテーマとして，「①色のついた高分子フィルムを作ろう，②偏光板と液晶ディスプレイを作ろう」の2つを行いました。「色のついた高分子フィルムを作ろう」では，ポリアニリン薄膜を透明電極上に析出させたのちに，エレクトロクロミズム現象と電池特性の観察に取り組んでいただきました。エレクトロクロミズムの原理を正確に理解するのは参加した中学生には難しいですが，目視でポリアニリン薄膜の変化が容易に体験できるため，非常に興味深く観察して楽しんでいました。もう1つのテーマである「②偏光板と液晶ディスプレイを作ろう」ではPVAフィルムを利用した偏光板の作成と簡易的な液晶ディスプレイ素子を作成し，テレビ画面など身近なところにある液晶素子がどのような原理で動作しているかを体験してもらいました。特に，偏光板作成に使った材料をドラッグストアでも容易に購入できる物で簡易化することで，身近な材料でも化学実験が可能であることを体験してもらいました。限られた時間ではありますが，参加した中学生の化学への興味を高められたのではないでしょうか。

おわりに

久々に米沢での東北大会開催です。米沢は，周辺に名湯，秘湯を含め多数の温泉があり，また米沢牛をはじめとした美味しい食材に溢れた町です。実行委員会一同で会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。また，令和6年度第336回化学への招待（米沢）は，日本化学会東北支部のご支援，ご協力の下，実施されました。ここに深く感謝いたします。

〔2024年度東北支部幹事
沖本治哉（山形大学）〕

© 2025 The Chemical Society of Japan